



著者プロフィール

日下野由季（ひがの・ゆき）

1977年9月29日東京都生まれ

1997年 「海」入会

2005年 「海」賞受賞 同人

2015年 第17回山本健吉評論賞受賞

句集『祈りの天』（2007）

海編集長

俳人協会会員 日本文藝家協会会員

〈句集『馥郁』より転載〉〈2018年10月30日時点〉

『馥郁』

（自選15句）

日下野由季

揺れやむは泣きやむに似て藤の花
あらたなる風てのひらの空蟬に
まだ見つめられたくて鴨残りけり
薄氷また来る場所と思ひある
哀しみのかたち猫を抱く夜長
冬紅葉紅を出て真紅
またひとつ星の見えくる湯ざめかな
寒禽の思ひ切るときかがやけり
桜満開父がゐる母がゐる
ふたたびとなきあをぞらを鳥渡る
草も木も人も吹かれてゐる涼し
馥郁と春の鷗となりけり
ひとつ足す窓辺の木椅子水温む
星涼しいのち宿るをまだ告げず
身のうちに心音ふたつ冬木の芽